

表3 平成13年度 NMCC 共同利用実績

	研究課題		割当回数	利用回数		利用時間 (hr)	備考
	(件)	半年	(回)	(回)	割当外		
PET	13	2	178	207	35	621	患者数 233
PIXE	37	9	295	356	132	1139	
薬剤合成	2	0	4	4	0	12	
その他	5	1	29	26	6	85	
合計	57		506	593		1857	

注) 研究課題件数は、平成12年度より通年利用を受け付けたため(通年+半年)で示す

3 JRIA・PET 用ファントムの貸出状況

平成6年度から貸出を開始した JRIA・PET 用ファントムの平成13年度の貸出状況を表4に示す。2週間を1単位としている。

表4 平成13年度 JRIA・PET用ファントム貸出状況

貸出期間	貸出先
8/06 ~ 8/20	先端医療振興財団先端医療センター
2/25 ~ 3/08	先端医療振興財団先端医療センター

4 セミナーの主催

平成12年度の NMCC 共同利用の研究成果を公表する第8回 NMCC 共同利用研究成果発表会を平成13年5月11日(金)・12日(土)、岩手医科大学歯学部において開催した。発表演題数は PET が10題、PIXE が24題、薬剤合成他が6題であった。また、慶應義塾大学医学部・放射線科学 中村佳代子先生による「核医学診療 - その扱いと放射線防護について - 」と題する特別講演を行った。参加者は合計約90人(マスコミ関係者を含む)であった。

5 施設・設備の運転状況

平成元年度からのサイクロトロン稼働時間を表5に示す。共同利用を開始した平成5年度より年間の稼働日数は約200日、稼働時間は約1250時間であり、設備はフル稼働状態が継続している。サイクロトロン稼働時間の8割以上を PIXE 利用が占めている。薬剤毎の PET 検査回数および診療利用部門を表6に示す。¹⁵O-水の検査が減少したが、¹⁸F-FDG、¹³N-アンモニア、¹¹C-フルマゼニルが増加したため合計では PET 検査件数は増加した。

表5 サイクロトロンの稼働時間(日数)

年度	PET	PIXE	RI合成	開発・調整	合計	(日数)
H1	0	0	0	25	25	10
H2	0	164	43	115	322	132
H3	4	496	66	82	648	174
H4	63	905	39	39	1046	203
H5	130	1168	25	10	1333	199
H6	188	964	33	18	1204	194
H7	173	1090	32	11	1306	198
H8	181	1040	13	4	1237	182
H9	178	1178	15	7	1377	194
H10	184	1129	5	17	1335	183
H11	150	1043	12	15	1219	187
H12	181	991	4	9	1186	177
H13	167	1139	2	9	1317	177

表6 平成13年度 PET検査件数

¹⁸ F-FDG	2 口外科	48	129
	歯科放射線科	36	
	整形外科	16	
	3 内科	11	
	3 外科	10	
	放射線科	8	
¹⁵ O-Gas + 水	神経内科	30	61
	脳外科	21	
	精神神経科	10	
¹¹ C-FMZ	1 内科	14	27
	脳外科	13	
¹³ N-NH ₃	県立中央病院		9
¹¹ C-NMSP + ¹⁵ O-水	神経内科		6
¹⁵ O-水	神経内科		1
合計			233

6 放射線管理

平成13年度の放射線管理は、関係法令を遵守し、良好な管理がおこなわれた。

放射線業務従事者

平成13年度の所属事業所別の放射線業務従事者数を表7に示す。